

響都 月刊
2022 March



気を付けてね！ ホールでの過ごし方

- 携帯電話や音が鳴るモノは電源を切りましょう。
- 演奏中はお話ししないで静かに聴きましょう！
周りの人も演奏を楽しみに来ています。
- 録音・録画、写真撮影は禁止です。

2022
3/26

Subscription Concert 第 947 回定期演奏会 C シリーズ

指揮／アラン・ギルバート

アンナ・ソルヴァルドスドットティル：

メタコスモス (2017) [日本初演] (14分)

ブルックナー：交響曲第 7 番 ホ長調 WAB107 (67分)

東京都交響楽団

PROGRAM NOTES

本日のコンサートでは、オーケストラのゴージャスな響きをたっぷりと味わえる2つの作品が演奏されます。少し大人っぽい2曲ですが、音楽にはもともと「わかりやすい」とか「むずかしい」といったランク付けはありません。皆さんの心の感じるままに、自由に楽しんでほしいと思います。

アンナ・ソルヴァルドスドットティル： メタコスモス（2017）【日本初演】

1曲目の「メタコスモス」は、日本では初めて演奏される作品です。ですから、今日このコンサートに集まった皆さんは、きっと今まで聴いたことのない音楽体験をすることになるでしょう。未知の世界に足を踏み入れるのは、すこしドキドキしますよね。この「メタコスモス」という作品は、まさにそうした緊張感も味わうことのできる音楽です。



作曲したのはアイスランド出身の作曲家、アンナ・ソルヴァルドスドットティル（1977～）さんです。発音が難しいお名前ですね。ここからは、アンナさんと呼ばせてもらいましょう。アンナさんの作る音楽は、今や世界中から注目を浴びていて、アメリカやヨーロッパの一流オーケストラも演奏しています。この「メタコスモス」という作品は、ニューヨークのオーケストラが2018年に世界で初めて演奏しました。

いったいどんな作品なのか、アンナさん自身の説明からご紹介してみますと、「宇宙、人間の経験、そして私たちの知らないブラックホールのような世界へと落ちていく」というイメージから、アイディアを膨らませていったそうです。アンナさんは、たとえば景色だとか、生き物だとか、感情だとか、何か具体的なものごとを音で描こうとはしていません。また、歌のように口ずさめるようなメロディーや、踊りたくなるようなリズムなども、この音楽には登場しないかもしれません。しかし、オーケストラの奏でる響きが、どんなふうに流れたり止まったりしているのか、または分厚くなったり薄くなったりしているのか、一瞬一瞬に耳を澄ませながら、自由に楽しんでみましょう。

ブルックナー：交響曲第7番 ホ長調 WAB107

後半はアントン・ブルックナー（1824～1896）というオーストリアの作曲家による作品です。ブルックナーは学校の教師として働きながら、優れたオルガン奏者として活躍もしていましたが、本格的に作曲家を目指そうと勉強を始めた時、彼はすでに31歳になっていました。比較的スタートは遅かったけれど、とりわけ「交響曲」というジャンルで優れた作品を残し、“大器晩成型”の作曲家として知られています。今日演奏される交響曲第7番は、ブルックナーが60歳のときの作品で、この曲によって彼はようやく作曲家として広く認められるようになりました。

交響曲とは、オーケストラのさまざまな楽器が豊かに響き合うように作られた、比較的スケールの大きな音楽作品です。とくにブルックナーが交響曲を作り始めた19世紀の後半には、オーケストラでは多くの楽器が使われたり、長い曲が作られたりするようになりました。この交響曲第7番も、1時間ほどかかる大作です。曲はゆったりとした第1・2楽章、リズムカルな第3楽章、壮大なフィナーレの第4楽章で構成されています。第2楽章にはワーグナーチューバという特殊な金管楽器が使われています。これは、ブルックナーが尊敬していた作曲家のリヒャルト・ワーグナーが考案した楽器です。この交響曲をブルックナーが作曲中、ワーグナーがこの世を去ったことから、追悼の思いをこめて楽器が加えられたと言われていました。長いと飽きてしまうかな…と心配しなくても大丈夫。ロマンティックで美しいメロディーやハーモニーがいたるところに登場しますので、じっくりと聴いてください。



文/飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

ワーグナーチューバ

指揮 アラン・ギルバート



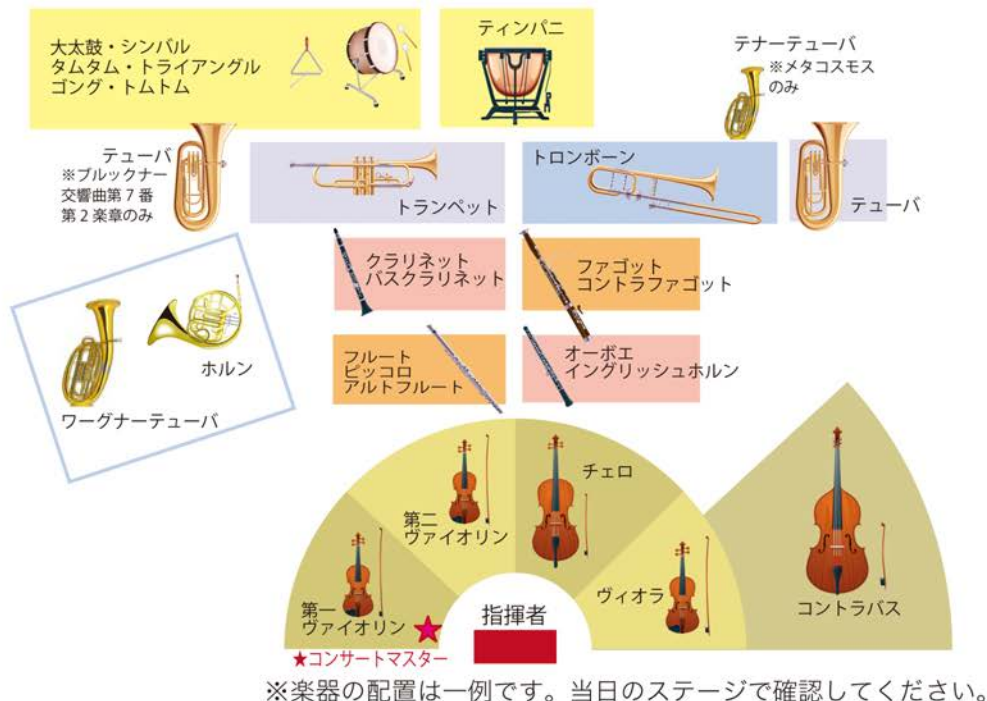
©Rikimaru HOTTA

東京都交響楽団首席客演指揮者、NDR エルプフィル（北ドイツ放送響）首席指揮者、ロイヤル・ストックホルム・フィル桂冠指揮者、ジュリアード音楽院指揮・オーケストラ科ディレクター。2021年にスウェーデン王立歌劇場音楽監督に就任。

2017年まで8シーズンにわたってニューヨーク・フィル音楽監督を務め、芸術性を広げる活動が高く評価された。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサート・オブ・ボウ管など世界の主要オーケストラに定期的に客演している。オペラではメトロポリタン歌劇場、ロサンゼルス歌劇場、ミラノ・スカラ座などへ登場した。メトロポリタン歌劇場とのDVD『ドクター・アトミック』（Sony Classical）、ルネ・フレミングとのCD『ボエム』（Decca）でグラミー賞を獲得。

オーケストラ配置図（3月26日 第947回定期演奏会Cシリーズ）

演奏する曲によって使わない楽器もあります。
どの曲にどの楽器が使われているかにも注目してね。



TMSO 東京都交響楽団

東京オリンピックの記念事業として
1965年に東京都が設立しました。
都響（ときょう）という愛称で親しま
れています。

上野の東京文化会館を本拠地として、サントリーホールや東京芸術劇場などで定期的にオーケストラの演奏会を開催しています。その他、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』などゲーム音楽の演奏や、都内の小中学生を対象に開催している音楽鑑賞教室、病院や福祉施設への出張演奏など多彩な活動に取り組んでいます。

2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めました。

